

ご し ち ご 五七五で広がる世界

はいく せんりゅう

俳句・川柳は世界で最も短い詩といわれ、老若男女を問わず親しまれています。毎年開催される「俳句甲子園（全国高校俳句選手権大会）」では、多くの高校生が俳句作りに挑戦しています。興味はあるけどちょっと難しそう...と思ったあなた、まずは同世代の人たちが作った作品に触れてみませんか。



俳句と川柳、なにが違うの??
読めば分かります!

「高校生川柳・^{きょうか}狂歌集

カンニングやりて空しき家路かな」

高文研編集部 / 編 高文研【911.4 カ】

あるある!思わず共感、そしてニヤッ。
そんな句が次々に出てきます。学校、
友達、家族など、身近な題材が多いので、
とても親しみやすい内容です。

「イラスト 中学生川柳 第1巻」

小林 桂三郎 / 編 汐文社【911 イ】

楽しいイラストとともに、中学生による川柳
が1ページに1句ずつ紹介されています。
おもしろくないことも1句作って笑いおぼせ
ば、あら不思議、元気がわいてきます。



ふふ、わかる...!!

「句集 ちいさな一茶たち 全国小・中学生俳句大会の二十五年」

楠本憲吉・炎天寺 / 編 グラフ社 【911.3 チ】

あとがきの中に「どういうときに俳句が作れるの?」ときかれ「こころがやさしいとき」
と答えた小学生がいた、というエピソードがあります。俳句作りは単に言葉をならべる
ことではなく、こころの中からわいてくるものを表現することなのかもしれません。

「17 音の青春 2010 五七五で綴^{つづ}る高校生のメッセージ」

学校法人 神奈川大学広報委員会 / 編 NHK 出版 【911.3 ジ】

「俳句甲子園」とならぶ全国的な俳句の催し「全国高校生俳句大賞」の入賞作品がまとめ
られた一冊です。「17 音の青春」という題名にふさわしく、さわやかさと同時に力強いエネ
ルギーが感じられます。

「星の林に月の船 声で楽しむ和歌・俳句」

大岡 信 / 編 岩波書店 【911 ホ】

「万葉集」から現代まで、俳句だけではなく和歌や詩まで、幅広く紹介されています。
それぞれ分かりやすい解説がついているので、ゆっくり味わって読むのがおすすめです。

【 】内は、請求番号（本の背ラベルの記号）です。